

チャイルドライン とちぎ



チャイルドラインとちぎは18歳までの子どもがかける子ども専用電話です。現在、全国のチャイルドラインと連携し、毎日16～21時までフリーダイヤルでつながります。2018年からオンライン相談も開設しています。



『Coelcanth』

松江 比佐子

私たちは
「子どもの権利条約」の理念に基づき
すべての子どもたちの豊かな「子ども時代」が保障され、
自分らしく生きていくことができる社会作りを
目指しています。

理事長挨拶	・・・	P2
公開講演会報告	・・・	P3
トピックス	・・・	P4-5
インフォメーション	・・・	P6

発行元
認定NPO 法人チャイルドラインとちぎ広報部
〒320-0837 宇都宮市弥生 1-6-3
Tel&Fax 028-614-3253
E-mail info@cltochigi.org
<https://www.cltochigi.org/>



この冊子は2023年度日本郵便年賀寄付金の助成を受けて作成しました。



新たなスタートに寄せて

認定特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ
理事長 福本 佳之



2001年2月「子どもたちの声をうけとめる」その想いだけで産声を上げた「チャイルドラインとちぎ」は、お陰様で丸22年を迎えることができました。その間多くの皆さまにこの活動をご理解・ご支援頂きましたこと、改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

今では認定NPO法人格を取得してから10年経過し、社会的責任を負いながらも変わりなく「子どもたちの声をうけとめ」更にその声を「社会に発信する」というミッションを果たすべく、地道に活動して参りました。

そしてこの度、松江比佐子前理事長のバトンを受け継ぎ理事長職をお預かりすることとなりました私、福本佳之と申します。本来であればご支援頂いている皆様お一人お一人に直接ご挨拶するところではありますが、まずはこの場を借りてご挨拶申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

僭越ながら私の事を少しお話しさせてください。私は1975年北海道根室市の出身です。当時の田舎町では一般的でありましたが、大学進学を志すと高校生から親元を離れ一人暮らしを始めます。現代ほどに情報手段が発達していなかった当時、15歳の少年が親元を離れることはまさに「自立」そのもの。友人は出来たととしても簡単に親を頼れなかった私がたどり着いたのが、親でも先生でもない第三者の「大人」でした。

下宿先のおばさん、ラーメン屋のおばちゃん、床屋のオヤジ、そんな何気ない日常で出逢う「大人」が、私にとっては親代わりの大切な話し相手でした。恐らく、いや間違いなく私にとってのチャイルドラインの「受け手」がそこに存在していたのです。

今頃になって気づく「大人」の有難さ。私たちチャイルドラインとちぎも、子どもたちの「今」に寄り添いつつ、彼らの「未来」を応援する、そんな存在であり続けたいと想っております。

2023年度は「こども家庭庁」が設置され、時の政府は「異次元の少子化対策」を打ち出しています。政府がわざわざ宣言するということは「対策が遅れている」という裏返しでもあります。

チャイルドラインとちぎは子どもの権利条約の理念のもと、「子どもと大人と対等な存在であり、社会をつくるパートナー」という子ども観を大切に、「子どもは社会の鏡であり、宝である」ことが当たり前となる社会の実現に向けて活動していきます。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

『子どもの声を聴く』 ～スクールソーシャルワーカーの立場から

講師 土屋 佳子 氏

5月28日（日） 於：とちぎ青少年センター

スクールソーシャルワーカー（SSW）として第一線で長年子どもたちに寄り添ってきた土屋佳子氏。

さまざまな問題を抱えた子どもたちと向き合いながら、どのように子どもたちに関わってきたのか、お話を伺いました。



【土屋佳子氏プロフィール】

日本社会事業大学専門職大学院・東北公益文科大学大学院非常勤講師（元同大学社会福祉研修センター客員准教授、早稲田大学・立教大学非常勤講師等）。前東京都清瀬市教育委員。前埼玉県子どもの権利擁護委員会委員長等。社会福祉士・社会教育士。

栃木県高根沢町において、文部科学省 SSW 活用事業が始まる前から SSW として活動。東日本大震災後は福島県にも赴任し、学校・地域での支援活動にあたる。SSW に関する著書多数。昨年 6 月より東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課に社会教育主事として入庁。

第 14 期養成講座を兼ねた講演会は一般の方を含め 74 名の参加がありました。

まずは、先生ご自身の人生を振り返り、つまづきを経験されながらもその中で子どもたちとの出会いについて話されました。先生自身も子どもたちから学び、子どもに恥じない生き方をするために学び直し、人とのつながりを大切にして助け合いながら、学んだことを活かし世の中に発進していきたいという強い決意が現在のモチベーションにつながっているとのことでした。

震災やコロナ禍を経験し、ポストコロナの今も子どもたちは様々な問題を抱え不安な状況は続いています。その中で子どもの声を聴き、一緒に考え言語化する、問題を可視化するために大切なことは何か？それは、子どもに寄り添う謙虚な姿勢であり、フラットな関係を心がけること。子どもにより近いスタンスで気持ちを受け止める事が大切とのことでした。思慮深い言葉がけをしながら一緒に言葉をつむぐという表現も心に響きました。また、自分自身のセルフエスティームを高めることも重要であると。セルフエスティームとはありのままの自己を尊重し受け入れることです。自身の安定が、結果として相手の安定をもたらすとまとめてくださいました。

～参加者の感想から～（たくさんの感想が寄せられました。一部を紹介します）

- ◆自分の人生を振り返ることの大切さを感じました。その経験があったからこそわかることや人の出会いもあると思いました。
- ◆ソーシャルワーカーの先生も人間なんだととても親近感がわきました。
- ◆自分を見つめ直し、頑張りすぎず、楽しく！という言葉に勇気をもらいました。自分の弱さを認めつつ、強いところを伸ばしたいです。
- ◆思っていることを声に出し、行動できる人になりたいと思いました。
- ◆「辛いことの先は辛い」の言葉が心に響きました。もっと楽に人に頼って生きようと思いました。貴重な時間感謝です。

子どもに寄り添い、フラットな関係を心がけるチャイルドラインにエールを頂きました。この講演を今後の活動に活かしていきたいです。



フェスタ my 宇都宮 2023 に参加



4月30日(日)宇都宮城址公園
明るく、楽しく、美しいまちづくりの一環として行われた宇都宮市のイベントに、今年もチャイルドラインが参加しました。

子ども広場の一角に子どもくじを出店しました。雨が降ったりやんだりの悪天候ではありましたが、たくさんのお子様たちが来場しました。子どもたちにはアンケートに協力してもらい、声を聴かせていただきました。

アンケート結果の一部を小学校低学年、高学年、中学生に分けて紹介します。

	小学校低学年	小学校高学年	中学生
チャイルドラインを知っている割合	12 / 34名 35%	29 / 36名 81%	15 / 15名 100%
チャイルドラインでどんな話をしたいですか？	学校のこと 楽しかったこと 嫌だったこと	学校のこと 嫌だったこと 友だちのこと	学校のこと 友だちのこと 嫌だったこと
今どんなことを心配していますか？	いじめ 友人関係 コロナのこと	友人関係 コロナのこと 勉強	勉強 進路 友人関係

チャイルドラインの認知度は年齢が上がるほど高くなり、カード配布の効果があると感じました。各々上位3つの項目を挙げましたが、心配なことに戦争や平和を挙げる子どもも一定数いました。今の情勢を反映しているように思いました。



「第11回チャリティゴルフコンペを開催」

5月3日(水) 新宇都宮カントリークラブ

コロナ規制が緩和され4年ぶりにゴルフコンペを開催することが出来ました。好天に恵まれ、宇都宮市長夫妻を含め64名の方が参加してくださり、プレーを楽しむと共に親睦を深めることが出来ました。ご寄付いただいた179,321円は子どもたちの支援のために大切にさせていただきます。



第 14 期生電話の受け手養成講座スタート

第 14 期生の受け手養成講座が始まりました。真剣に研修を受ける皆さんの姿に、私たちも初心にかえる気持ちです。全 13 回の研修を終えて年内には受け手として活動を始めます。



フードバンク宇都宮へ協力

フードバンクでは現在、食品が不足している状態が続いています。常温保存できるレトルト食品や缶詰など 2 回に分けて 8 キロほどの食品を集め、フードバンクうつのみやに寄付をしました。



トルコ・シリア地震街頭募金

2 月 23 日 (木) 宇都宮中心部



トルコ・シリアの地震を受け、とちぎコミュニティ基金さんの呼びかけで街頭募金に参加しました。

集められた募金は被災地で被害にあわれた方々に届けます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

花王ハートポケット倶楽部 栃木地区地域助成

8 月のネットでんわ (スマートフォンのアプリを利用した通話) 開設に向けての準備として、

花王ハートポケット倶楽部様より助成金をいただきました。

ネット電話の準備と研修に使わせていただきます。活動の理解と応援に心から感謝もうしあげます。



子どもたちにカードを配布しています

私たちは県内すべての小中学校・高等学校・特別支援学校に、チャイルドラインのカードを配布しています。カードにはチャイルドラインのフリーダイヤルの番号とチャットにつながる QR コードが書かれています。カードは学校を通じて子どもたちに届きます。



全国夏のキャンペーン・ネットでんわが始まります

子どものつらい気持ちのピークといわれる夏休み終了前後、今年もこの時期に全国キャンペーンを開催します。子どもの声をたくさん受けとめるために、チャイルドラインとちぎは聴く体制を強化して参加します。

キャンペーンに合わせスマートフォンのアプリからの通話「ネットでんわ」も開始します。今までフリーダイヤルにつながることでできなかった子どもからの声を受けとめることができるようになります。

ご支援ありがとうございました

令和5年1月～令和5年6月

団体

相沢商会(有)	(株)環境公害分析センター	福田こどもクリニック
あんどうこどもクリニック	(株)小牧工業	宝泉寺
(有)いちご広告社	さいとうクリニック	みらい・ともに・すすむ
いとうこどもクリニック	白石環境	社会福祉法人 明誠会
おかべこどもクリニック	(株) TKC	やしお幼稚園

個人

浅香 淳子	枝野 滋子	島崎あや子	竹内美由紀	沼部 博成	古川 弘	山本 令子
飯塚 真玄	大島 誠	鈴木 潤子	手塚 寛	長谷川央子	丸山由美子	
飯塚 有美	小田切安子	関沢 紀	寺脇 立子	廣瀬 隆人	水越 久夫	
生田 敦	小野 悦子	関端 榮子	中村 悦子	廣野 典男	森 るみ子	
生野 裕子	黒政 幸子	曾我 昌平	七澤 清	福泉 水玲	谷野 定之	
浦部 延子	佐竹 淳	曾我恵美子	並木 俊和	福田 容子	山野井 暉	(敬称略・五十音順)

♪インフォメーション♪ チャイルドラインとちぎが参加します！

8月5日(土) 6日(日)
「第48回 ふるさと宮祭り」
警備ボランティアとして参加します！

11月12日(日)
「ふれあいフェスタ」
とちぎ青少年センター(アミークス)

10月29日(日)
「第14回子ども虐待をなくそう！
県民のつどい」 作新学院大学

12月17日(日) 「サンタ de ラン&クリーン」 宇都宮市中心部
子どもの貧困撃退♡チャリティ『サンタ de ラン』とは、①子どもの貧困を知ってもらい、②県内で子どもを支援している団体を応援する寄付を集めることで、子どもの貧困をなくすためのイベントです。チャイルドラインとちぎは、寄付先(寄付をしていただく)団体として参加します。ぜひ、皆様の温かいご支援をお願い致します。

チャイルドライン支援のお願い

チャイルドラインとちぎは認定 NPO 法人です。当法人への寄付に際しては、税法上の優遇措置を受けることができます。フリーダイヤルを継続していくために、ぜひご支援くださいますようお願い申し上げます。

支援会員 個人一口 3,000円 団体一口 10,000円 ※何口でも結構です
郵便振替 口座番号 00120-2-659158 ※任意の寄付金も受け付けています

加入者名 チャイルドラインとちぎ

銀行振込 栃木銀行において本会の趣旨に賛同くださり、本会所定の振込用紙による同行本支店の振込手数料を無料扱いにしてくださっています。お振込みの場合は下記に「振込用紙」をご請求ください。

問合せ先 チャイルドラインとちぎ TEL・FAX 028-614-3253 E-mail info@cltochigi.org